

中施策評価書

作成日 令和06年 5月 31日

中施策事業名	図書館施設維持管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	13 教育や子どもに関する予算が確保され、教育環境がよい		
②大施策	教育や子どもに関する予算を確保し、教育環境を整える		
③中施策	学校以外の教育施設・設備を充実する		
④中施策事業の対象	図書館施設		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	施設の改修や維持管理が適切に実施され、快適に利用できる環境が整っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設の維持管理事業 ・展示室事業 ・施設利用及び年間行事予定事業 ・館内の美化事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
入館者数（本館・南部公民館図書室）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	239,000	239,000	239,000	239,000	0	0
	実績値	175,211	154,648				
	単位 人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				27, 349千円	110, 588千円		
	a 事業費合計			27, 349千円	110, 588千円	25, 883千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			71千円	75千円	92千円
③ コスト (①－②)			27, 278千円	110, 513千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			396 円	1, 606 円			

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 入館者数はトイレ洋式化工事により休館となったため目標値に達成していないが安定した数値である。施設は古いが外壁工事とトイレ洋式化工事を行い授乳室も新たに新設し、改善ができた。また、劣化したブラインドの改修も行うことができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	電気設備が老朽化しており、高圧機器の更新工事及び変圧器絶縁油交換工事を行い館内の電気の流れと電圧を安定させ利用しやすい環境を充実させる。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	トイレ洋式化工事及び授乳室を新設したため、来館者が利用しやすい環境になったことで来館者の増加につながる。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 閉架書庫改修事業	内容、理由、時期等 開館当初からの設備で同種類の設備や備品が無く不都合が発生した場合、修理が不可能で蔵書貸出業務に支障をきたすため、令和8年度から令和11年度の4年間で改修工事を実施する。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 12月 12日

中施策事業名	資料情報管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	図書館資料		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	図書館資料の詳細データが整備され、検索が容易にできる状態となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 資料総点検全般事業 ・ 電算システムの管理事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
年間の予約件数 (web予約含む)	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	0	0
	実績値	17,038	21,605				
	単位	件					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				8,930千円	9,021千円	
	a 事業費合計			8,930千円	9,021千円	9,277千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				8,930千円	9,021千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				130 円	131 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 目標値は達成できており、来館者数も安定している。 トイレ洋式化工事により休館となったため、インターネットでの予約や検索数が増加傾向となり予約件数は増加となった。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引続き利用者が利用しやすい資料案内を工夫し、館内環境を整える。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	利用者が必要とする資料案内ができるよう工夫する。 令和8年度の図書館システム更新に向けての準備を進める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 5月 31日

中施策事業名	図書館資料貸出事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	新しい文化を醸成する		
④中施策事業の対象	図書館利用者（児童・生徒とその保護者及び関係する地域住民）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	読書推進によって、子どもの情操教育が充実し、市民も豊明の歴史・伝統・文化に対する関心が高まっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 広報、館報、HP、電子掲示板、メール配信事業・一般書事業・児童書事業・図書館用AV資料事業・レファレンスサービス事業・相互貸借事業・利用案内事業・利用推進事業・学校連携、職場体験事業・ボランティア事業・南部公民館図書室改善事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
年間貸出点数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	450,000	450,000	450,000	450,000	0	0
	実績値	444,202	392,139				
単位	点						
新規登録者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	0	0
	実績値	1,124	1,038				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				37, 320千円	40, 032千円	
	a 事業費合計			37, 320千円	40, 032千円	46, 399千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				37, 320千円	40, 032千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				542 円	582 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B トイレ洋式化工事により休館となったため貸出冊数や新規登録者数は減少したが、利用者は安定している。休館期間中は予約本の受取のみの業務を行い通常の本の貸出はできなかったが、「本の福袋」を用意し利用者に提供した。また、毎年開催している図書館フェアは中止としたが、予約本の冊数も増え利用者也安定した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	新規の講座や行事を企画し開催する。新たな行事に参加者が集まり来館者数の増加にも繋がる。また、南部公民館図書室もリニューアルオープンし前後駅利用者（通勤・通学）の増加を見込んだ蔵書の充実をはかる。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	毎月の「おすすめ本コーナー」や「今月の本棚」を引き続き実施し充実させ、新たな事業の企画も行う。また、南部公民館図書室についても利用者が利用しやすい環境と蔵書につとめる。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 5月 31日

中施策事業名	郷土資料保存事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	郷土資料等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	豊明の歴史、伝統、文化に関する資料及び情報が収集されるとともに利用しやすい環境が整備されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 参考資料室事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
郷土資料の貸出冊数（原則館内利用だが、5日間の特別貸出可能）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	100	100	100	100	0	0
	実績値	28	27				
単位	冊						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				740千円	883千円		
	a 事業費合計			740千円	883千円	876千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			740千円	883千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				11 円	13 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 貸出冊数は目標値に達していないが、一定数の利用があり閲覧者の利用もある。書架の配置を整理し利用者が利用しやすくなるよう整えた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引続き郷土資料の充実や書架の配置を工夫し、利用者が利用しやすくなるようにつとめる。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	郷土資料における貸出実績を増加させるため、書架・蔵書の整備を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等